



第575号

発行所
自治労連愛媛県本部
松山市三番町8丁目10-2
電話(089)931-7312
FAX(089)933-1699
jehime@sage.ocn.ne.jp
発行人 森賀 俊二
編集人 和氣 伸二

(組合員の氏名等は組合員の
同意なく含まれていません)

日程

- 【1月】
10 新春合同旗びらき(松山)
18 県本部拡大執行委員会
県本部組織集会
20 南予総支部代表者会議
24 自治労連本部中央委員会
(横浜~25)
25 愛媛労連中央委員会
(松山)
自治労連・共済組合議員
団総会・研修会(横浜~26)
31 自治労連批准投票
(~2/14)
【2月】
1 自治労連非正規全国交流
集会(東京、web併用~2)
2 地域医療学習・意思統一
集会(本部、web併用)
3 医療関係府省要請・団体
懇談(東京)
8 県本部中央委員会
県本部労安学習会
14 自治労連共済学校
(滋賀~15)
15 自治体保育労働者の全国
集会in広島(~16)

《県市町振興課要請》賃金・手当、カスハラ、定年引上げ、会計年度職員の改善など要請
「組合活動」にみんなで参加して、要求実現を一緒にめざそう



働き続けられる職場づくりへ
職場の声に応える努力を

県本部は11月20日、7
単組10人が参加し「県市
町振興課」へ要請。県側
は課長ら7人が対応しま
した。※以下重点でのや
りとり要約。
1. 賃金引上げ、昇給停
止・手当の改善
《県》55歳昇給停止は、
50歳台後半の給与上昇を
抑制・適正化する観点か
ら14年1月の国の取り扱
いを踏まえ実施。地方公
務員法上の職務給の原則
均衡の原則から、国を基
本とし、今年も同様に対
応する。通勤手当は県も
国勧告に準じて改定する。
【組合】自身は現業職の
途中入庁で給料表が55歳
までに上がり切らない。
60歳で7割は生活がかな
り厳しい。給与で会計年
度職員に追い抜かれる事
態もある。
《県》給与体系について
市町振興課として市町に
指導できる立場にない。
情報を助言するスタンス。
【組合】地方公務員の多
くが車で通勤しており、
物価高騰でも通勤手当は
変わっていない。交通用
具利用者の通勤手当の引
き上げを。
《県》通勤手当を何に基
づいて制度設計するか。
国に準拠し、水準は地域
制度は国。そこを独自で
改定は難しい。通勤手当
は平成3年がベース。
2. 労働時間管理、人材
確保、人員増
《県》地方公共団体にお
ける定員管理は、行政の
合理化・効率化、行政課
題に的確に対応できる地
域の実状を踏まえた対応
を助言している。最少経
費で最大効果を求める地
方公共団体の運営基本原
則を踏まえ、効率的な行
政を助言している。
【組合】技術職員の確保
へ努力しているが、技師
の減少に歯止めがかかっ
ていない。災害時に人員
不足が際立った。
《県》県も困っている。
受験者がいない。市町も
技師は来ない。新規学卒
者が1%減。募集を増や
しても民間に負ける。総
がかりの対策が必要。
【組合】6~9月まで給
付金事業に各都府から1人
が10月まで従事。人手不
足の中、国の指示で急な
負担増は厳しい。猶予期
間設けるような申出を。
《県》マイナンバーなど、
財政・人的負担が自治体
にかかることは市長会、
知事会で配慮を申し出た。
3. ハラスメント対策
《県》各種ハラスメント
防止は法律上義務付けら
れ、団体規模・職場状況
問わず必ず講ずべきもの。
カスハラは公務でも深刻
な事態と受け止め、組織
的対応を助言している。
【組合】カスハラ対応方
法の確立、対処訓練など、
講習会などの実施を。
《県》県の研修所でのク
レーム対応講座にカスハ
ラ対策も含まれる。市町
職員も受けられる。人事
にも研修するよう求めた
い。自治体ほど住民との
距離が近く難しい。組織
対応が求められる時期に
来ている。
4. 雇用と年金の接続
定年引上げ、再任用職員
《県》定年引上げに伴い、
均衡の原則に基づく国家
公務員の取り扱いを考慮
した適切な対応が必要。
国家公務員給与は当分60
歳に達した後の最初の4
月1日以降7割水準とさ
れ、地方公務員も同様。
国勧告で、再任用職員の
月例給引上げ、期末・勤
勉手当も引上げ、住居手
当等の支給も勧告されて
おり県勧告も同様。
《県》給与改定は5月2
日付総務省通知で、常勤
職員の取り扱いに準じて
改定が基本で必要な対応
がされていると認識。再
任用の任用では、客観的実
証の上で任用が必要。国
の期間業務職員は3回目
公募を廃止。繰上げマニ
ュアルでも適切な対応が求
められた。各市町の判断
によるが、県として適切
な任用を助言していく。
【組合】病気休暇の有給
化ができていない。
《県》国の非常勤職員が
無休。均衡原則であり、
有給化をいうことは県は
できない。県も無給。
6. 県へ要望、持続可能
な地域医療・自治体病院
《県》公立病院は救急医
療、へき地医療、感染症
対策など地域で重要な役
割を果たしており、安定
した地域医療確保へ経営
強化や医療体制の整備に
は十分な財政措置が必要
と認識。県では全国知事
会等で必要な財政措置の
充実を国に提案している。
【組合】西予市立病院・
介護施設の指定管理方針
が、理解も納得もできな
いまま待ったなして進み、
医療介護職員の身分が公
務員でなくなり納得でき
ず、退職者もいる。地域
医療振興協会に不採用に
なった人もいる。公務員
が指定管理移行で雇用が
守られないことが無いよ
う市町を含めて指導を。
《県》指導する立場は難
しいが、西予市は5町合
併で広く、財政状況でも
人件費など義務的経費が
県内でも高い部類。必要
な行政サービス実施に首
長が判断された結果と感
じている。県全体として、
地域医療確保維持のとり
くみはやっているので、
ご理解をいただきたい。



河野会長「時間外は正、カスハラ対策
進める。自治体職員への期待は重い」

県本部町村職評議会は
11月25日、県町村会長へ
要求書を提出し要請を行
いました。要請には内子
町職と県本部の3人が参
加、河野町村会長(久万
高原町長)ほか3人が対
応。森賀県本部委員長が
要求の主旨説明を行い、
内子町職の力石委員長か
ら「保育士など資格職の
採用難、若い人が辞める
のも困っている」「カス
ハラ対策に電話の録音を
各町長へ助言をお願いし
たい」と要請。冒頭、河
野会長が「9町を代表し
て承り、他の町長に伝え
る。組合の活動に敬意を
表します」と発言。河野
会長から「自治体職員は
住民を見て頑張っていた
だっている。時代と共に
自治体職員への期待が重
くなっている。久万高原
町は人口減少も進み、地
域でできていた役割も町
で地域担当を命じ、その
人が広報や様々な点を補
完しなければならぬ」「
仕事した時間を評価で
きていないのであれば時
間外は正が必要」「カ
スハラは田舎でもあり、
対策として名札を名刺だ
けにし電話の録音も検討。
助言は行う」など回答。
最後に河野会長から「自
治体への応募減で町によっ
ては通年募集している。
久万高原町は財政規模に
対し350人で多いと言
われるが、面積が広くす
べての人を守るなら人は
要る。今日の話は、町村
会で伝える」などコメン
トがありました。



【町村会長要請】

『ドキジャム』を今年は西予で開催！
防災の重要性、地元の良さを学び交流



【青年部】

県本部青年部は12月7
~8日、四国ブロック青
年部企画「ドキジャムin
西予」を開催し、2県5
単組17人が参加。7日
は西予市野村町の「乙亥
会館」に集まって「災害
伝承展示室」からスター
ト。西日本豪雨での西予
市の被害について、パネ
ルやVRによる映像で追体
験しながら、語り部の方
に話をうかがいました。
その後、野村町内を語り
部の方と一緒に歩きなが
ら、被害のようすを振り
返り、「アツイパーク」
にある新たにできた災害
への備えも学びました。
その後、今日の学びから
災害にどう備えるか、自
分の自治体ならどうする
などのテーマでワークショップを開催。参加者が自分
のことで学びました。
終了後は明浜町のきやん
ぱへ移動しコテージに宿
泊し夕食交流。翌8日
は明浜町狩浜の「かりと
りもさくの会」の方にガ
イドをお願いし、みかん
狩りを実施。よく冷やさ
れた旬の果実を楽しみま
した。2日間で単組間の
青年の交流を深めること
ができました。

### 「四国は一つ」真ん中進む 自治労連さらに強く大きく!



《四国ブロック定期総会》

自治労連四国ブロックは11月30日、定期総会(高知市)を開催し四国4県他から48人が参加。午前は「事前会議」を開催し総会や交流会を行いました。午後(労働学校)では「自治労連結成の意義と展望」をテーマに、桜井自治労連中央執行委

### 【宇和島】組合未加入者も参加 「人勸」と「資産形成」学習会



宇和島市職は11月26日「人事院勧告」と「NISA・iDeCo」についての学習会を開催し16人が参加。組合員の声かけで組合未加入者5人も参加。前半は河野委員長が、25日団体交渉について報告。人勸の4月週及による差額について解説し、参加者も実際に差額について計

### 【西予市】参加しやすい「女性部学習会」 「西予市職」も参加

西予市職は11月9・14・29日と「女性部学習会」を開催し女性部員33人と親組合役員が参加。6月の女性部定期大会の際にミニ学習会を行い「短時間の学習会なら参加しやすい」との意見があったことから、昼休みや休日の都合がつけやすい時間で日程も複数日を設定。参加しやすい学習



### 【書記部会】定期総会と学習交流会で 自己紹介と交流。要望も確認

県本部書記部会は11月28日「24年度定期総会」と「学習交流会」を開催し、8単組11人が参加。総会では、活動経過として今年の参加の状況などを報告し書記部会世話人を確認。今年度の書記部会要望書の議論へ。書記名簿・実態調査票も参考に、



### 【山】大会後初の執行委員会。ノール 平和賞に組合の先輩書記が貢献

松山市職は11月25日に「定期大会」を開催し60人が参加。高橋委員長から山内委員長に世代交代し、大会後に懇親会を実施しました。12月9日、大会後初の「執行委員会」に14人が参加。森賀県本部委員長があいさつし、活動成果として給与改善・年内差

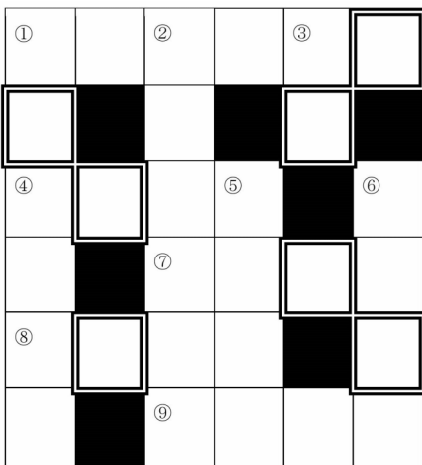


《県公務員共闘会議》

### 定期総会開催。来春闘から人勸は 運動推進で要求改善できる情勢!

県公務員共闘会議は12月4日「定期総会」を開催し20人が参加(自治労連11人)。学習講演として公務労組連絡会の香月事務局長から「24人勸学習会、公務労働者の生活と権利と『新時代の青写真』」と題して、25春闘から人勸へむけての情勢の特徴などを発言。「25人勸ではジョブ型給与制

- 【ヨコのカギ】
- ①片足だけではねて進む。けんけん
  - ④「天才は1%の〇〇〇〇と99%の努力」
  - ⑦太宰治の代表作の1つ『人間〇〇〇〇』
  - ⑧巧みに物事をなしうる能力や技術。包丁の〇〇〇〇
  - ⑨遠く離れていること。パソコンの〇〇〇〇操作
- 【タテのカギ】
- ①紙を翼のある形に折って飛ばすもの
  - ②たやすいことの比喩。それぐらいは〇〇〇〇〇〇だ
  - ③♪〇〇の高知のはりまや橋で～
  - ⑤タバコを吸うこと。⇔禁煙
  - ⑥新聞(記者)を「社会の〇〇〇〇」と呼ぶ



出題者 堀川孝行

マス目を埋め、二重枠の7文字でことわざにして下さい。

■573号のパズルの答えは「オオタニシヨウヘイ」(大谷翔平)でした。正解は10通でした。正解者のなかから5人の方に図書カードを進呈いたします。(敬称略)

山里敬一郎(西予) 久葉加代(新居浜) 伊藤朝美(新居浜) 岡崎美都(宇和島) 永易優子(新居浜)

【応募方法】パズルの解答、氏名、住所、単組名を忘れずに。また、余白に紙面の感想、職場や家庭での出来事などをお書きください。正解者のなかから5人の方に図書カードを進呈いたします。

【送り先】自治労連愛媛県本部パズル係 〒790-0003 松山市三番町8丁目10-2 (FAX、メールも可) 1面題字下に記載 【締切り】1月27日 【発表】577号(2月号)

### おたより ありがとう

と、数年前から高齢者の姿が増えていると感じます。2025問題がもうすぐです。高齢の母を傍で見ながら、将来の自分の生活を想像する今日この頃です。(新居浜・西原) ■久しぶりにクロスワードをしましたが、ヒントでなんとなくこの方なのでは? とときすすめていくとやっぱり! 野球音痴の私でも知っているすごい人ですね。(新居浜・伊藤) ■可愛い物や街に出かける(津島吉田・岡原) ■愛媛には、大谷池も大

